

課題1 南海トラフ地震の評価手法高度化と他地域への展開研究

新たなN-netの観測データも活用し、南海トラフ地震想定震源域の三次元地下構造モデルの精緻化や震源決定精度の向上を図るとともに、北海道・三陸沖など他地域へも展開する。また、ゆっくり滑りの推移評価手法を確立するとともに、将来起こりうる南海トラフ地震発生シナリオを構築することで、より現実的な複合災害シナリオや事前対策検討に繋げる。

気象庁検討会＆地震調査委員会

南海トラフ & 千島・日本海溝

地域レジリエンス研究会

ニーズ

地震活動・固着滑り情報・応力評価

1a: 陸海観測データを
用いた地震活動
モニタリング

陸域及び海域の定常観測による連続データと三次元地下構造モデルを用い、
南海トラフ域及び日本海溝・千島海溝域において、従来よりも**高精度**な通常
の**地震及びスロー地震**活動の自動モニタリングを実現する

1b: 陸海測地データに
もとづくプレート
境界の準リアルタイム
モニタリング・
推移評価

プレート境界の**固着・すべり状態**を陸海の複合**測地**データから時間方向に
シームレスかつ準リアルタイムで把握するプロトタイプシステムを構築し、
次に発生しうる地震の規模やその広がりに拘束を与える。

1c: 地震履歴情報に
基づく
南海トラフ巨大地震
の
発生シナリオ構築

歴史記録、陸上地質記録と海域地質記録それぞれの分析媒体の特徴を活かし、
時間軸を揃えた統合解析を行うことにより、先史時代から現代まで**一気通貫**
した**南海トラフ巨大地震**の**発生履歴を評価**し、**将来起こり得る南海トラフ巨
大地震の発生シナリオ提案**を行う。

南海トラフ

地震発生履歴 & 将來の発生シナリオ
ニーズ

地震本部（長期評価等）& 内閣府防災

より現実的な複合災害シナリオ & 事前対策検討